

令和7年度 沖永賞受賞の言葉

● 大湾 秀雄 先生

「このたびは、このような伝統ある賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。選考委員の先生方に、心より御礼申し上げます。

本格的な学術書ではなく、ビジネス書として執筆した本で沖永賞を頂戴したことに、私自身たいへん驚いております。しかしながら、学術的な知見を実務に活かす橋渡しとしての役割を評価していただいたものと、ありがたく受け止めております。

本書にまとめた知見は、決して私一人の力で得られたものではありません。企業内データを用いた実証研究を支えてくださった経済産業研究所の皆様、多くの共著者やリサーチアシスタントや秘書の皆様、そして執筆に辛抱強くお付き合い頂いた日経 BPの平井修一様に、心より感謝申し上げます。

この受賞を機に、より多くの経営者やビジネスパーソンの方々に本書を手にとっていただき、格差縮小に向けた取り組みの一助となれば、これにまさる喜びはありません。」

● 志水 深雪 先生

「この度は、歴史ある沖永賞を賜り、大変光栄に存じます。

ご推薦くださいました先生方、審査に携わってくださいました選考委員の皆様をはじめ、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今回の著書では、雇用契約における「明示条項と黙示条項」という奥深いテーマについて、比較法的な観点から検討を試みました。自分自身ではまだまだ道半ばの研究ではございますが、このように温かい評価をいただけたことは、これからの大きな励みとなります。

この受賞を糧に、今後も労働問題の実態を常に念頭に置きながら、雇用契約論の研究を一步ずつ深めてまいりたいと思います。」